

一般質問 (要旨) 市政の内容を 聞く



★…一問一答方式

- 1 中町 聡 (日本共産党)★**
 - ① 地域経済の活性化
 - ② 公園問題について
- 2 若木 早苗 (日本共産党)★**
 - ① 高齢者が安心して暮らすための市の施策について
 - ② 砂川地域のまちづくりについて
 - ③ 米軍横田基地について
- 3 谷山 きょう子 (立川・生活者ネットワーク)★**
 - ① 子どもの貧困対策について
 - ② 小学校のトイレ悪臭からみた建物建替えや改修とその維持・管理システムについて
 - ③ 公共施設の洗剤とPRT法及び環境対策との整合性について
- 4 浅川 修一 (日本共産党)★**
 - ① 南口のまちづくりについて
 - ② 公共施設の役割について
 - ③ 第一中学校の改修について
 - ④ 生物多様性について
 - ⑤ おもてなしの心について
- 5 江口 元気 (たちかわ自民党・安進会)**
- 6 門倉 正子 (公明党)**
 - ① 安全・安心のまちづくり・立川駅にホームドアの設置
 - ② 保育園待機児童解消に向けて
 - ③ 認知症対策について

- 7 瀬 順弘 (公明党)**
 - ① 健康診査の受診率向上について
 - ② 子どもの生活習慣病予防について
 - ③ 市民活動支援制度について
 - 8 大沢 純一 (公明党)**
 - ① 災害時帰宅困難者の一時滞在施設への誘導について
 - ② 市営住宅の連帯保証人について
 - ③ 成人歯科健康診査事業について
 - ④ Ingress[®]を利用した回遊性観光の取り組み
 - 9 山本 みちよ (公明党)★**
 - ① 新地方公会計制度について
 - ② 子どもたちの笑顔を守るために
 - 10 高口 靖彦 (公明党)**
 - ① 生活困窮者自立支援法を受けて、立川市の取り組みは
 - ② 動物愛護と地域猫等について
 - ③ 情報化時代と子どもたちについて
 - 11 松本 あきひろ (たちかわ自民党・安進会)**
 - ① 第4次長期総合計画について
 - ② 指定管理者制度について
 - ③ 自治会について
 - ④ 多摩地域から、羽田空港へのアクセス向上策について
 - 12 永元 須摩子 (日本共産党)**
 - ① すこやかな子どもの成長のために
 - ② 人間が安心して働くために
 - ③ 若葉町のまちづくりについて
 - 13 大沢 豊 (緑たちかわ)★**
 - ① 生活困窮者自立支援法の取り組みについて
 - ② 資源循環組合の第5次ごみ減容化について
 - ③ 水素エネルギー利用への取り組みについて
 - 14 稲橋 ゆみ子 (立川・生活者ネットワーク)★**
 - ① 武蔵砂川のまちづくりについて
 - ② 第4次長期総合計画について
 - ③ 地下水汚染による影響について
- 議長、副議長及び監査委員は、その職務の性格上、一般質問を行っていません。
- (注) スマートフォンの位置情報を利用したオンラインゲームの名称

生活が苦しい方が介護相談できる体制を

地域包括支援センターを周知
若木 早苗 (日本共産党)



問 介護が必要な状況でも、生活が苦しく、利用料が払えないという方がいます。これらの方が相談できる体制を作る必要があると考えますが、見解を伺います。また、介護報酬の削減について、現場から不安の声が聞かれます。現場の環境悪化で人員不足が進行し、介護の質や環境、現場のやりがいや情熱が保てなくなることが心配です。市として対策や取り組みは考えているのでしょうか。

答 金銭的理由で介護保険サービスの利用ができないというところが、本市では、法で定められた減免制度に加え、独自の負担軽減事業を行っています。また、身近な相談先として地域包括支援センターを市内6圏域に配置しており、引き続き周知に努めます。介護の人材については、現在東京都が策定している第6期高齢者保健福祉計画において介護人材対策の推進をうたっており、総合的な取り組みが進められると聞いています。

錦中央公園をニュースポーツの広場に

可能性の検討はまだ
中町 聡 (日本共産党)



問 ボールで遊べる場所が足りないとの声があります。錦中央公園を、スリー・オン・スリーのバスケットコートなど、ボールが使えるニュースポーツの広場として、旧庁舎周辺地域のランドデザインの中に取り入れることを提案します。活発な子どもたちや、生き生きとした若者たちなど、みんなが交流をすればにぎわいの創出もでき、南部周辺地域の新たな活性化と回遊性も創出されると考えます。見解を伺います。

答 子どもたちの外遊びの確保について、現在は学校行事に支障のない範囲で学校施設を開放しています。今後は、団体貸し出しをしている体育施設について、安全性の確保などを整理し、ボール投げを含む外遊びの場として一定時間の開放を検討していきたい。旧庁舎周辺のランドデザインについては、立川病院の建替え後の流れの中で検討していくため、ニュースポーツの広場の可能性については、その時検討することになります。

南口デッキからの雨漏りについて

事業者へ早期対応依頼
浅川 修一 (日本共産党)



問 立川駅南口に20力以上あったデッキからの雨漏りは、どの程度解消したのでしょうか。エキュートとデッキのつなぎ部分からの雨漏りはまるでシャワーのようです。この部分の状況や改修の進め方について伺います。また、雨のときバス停に降りると、上から水を被るというような状態についても、対応を求めます。デッキの下の覆いを外してしまい、水漏れなどにすぐ対応できるようにしたいのでしょうか。見解を伺います。

答 平成25年度にデッキの工事をを行い、雨漏りは8カ所程になっっています。エキュートとのつなぎ目は非常にひどい状態だと認識しており、ジョイント部から雨水が侵入しているため、ジョイント部の管理を行う事業者へ早期対応を依頼しています。バス停の上の雨漏りも、その水の侵入が原因の一つなので、まずはジョイント部の対応をしてもらいたいと考えています。デッキ裏の天井は、都市景観上残していきたい。

小中学校のトイレ 早急に改善を

対策を実施していく
谷山 きょう子 (立川・生活者ネットワーク)



問 学校のトイレが汚く、不快だと、子どもが排泄を我慢することもあり、健康面、心理面で深刻な問題です。また、公立学校が災害時の避難場所として使われることを考えても、早急な改善が必要です。建物全体の大改修を待たず、優先度の高いものから小中学校のトイレ改修を実施していただきたい。また、建物の維持管理上も、長寿命化のためにも、こまめなメンテナンスが結果的にはコスト削減につながることを認識すべきです。

答 児童生徒が健康で快適に学校生活を送れるようにするため、トイレ環境を改善することは重要な課題だと認識しています。これまでも施設の環境改善に努めてきましたが、民間事業者のノウハウなども活用し、今後対策を実施していきたい。教育環境の改善は、トイレも含め、空調の改善などさまざまな部分で計画的に行っていく必要があります。非常に大きな課題ですが、今後、年次計画をどのようにつけていくか検討していきたい。

立川駅ホームドア設置に向け努力を

事業者に要請していく
門倉 正子 (公明党)



問 立川駅は多くの路線の乗り入れ駅として乗降客が多く、ホームが混雑し、ホームからの転落や列車との接触などの危険があります。事故を防止するために最も有効な方策はホームドアの整備であり、政府もその設置を加速させる計画を発表しました。立川駅にホームドアを設置するよう、すぐにでも鉄道事業者に働きかけるべきです。だれもが安全で安心して駅を利用できるまちづくりを目指し、設置に向け努力していただきたい。

答 現在、立川駅ホーム内の転落防止対策は、内方線付き点状ブロックの設置が主です。ホームドア設置には、車両扉の規格統一化が必要となるほか、ホームの補強整備等も想定されます。その費用負担に加え、車両の停車時間の増大など運行上の課題もあります。山手線などへのホームドア導入や、拝島駅に試行導入される昇降式ホーム柵の検証結果の状況を見据え、利用者が安全に駅を利用できるように、鉄道事業者に要請していきます。

南口のまちづくりのスケジュールは

協議などを経て完成を目指す
江口 元気 (たちかわ自民党・安進会)



問 グランデュオ前のいろは通りは、バスの運行が可能で2車線の相互通行として整備される予定ですが、このスケジュールについて伺います。また、58街区に建設予定の都との合築施設について、地元ではいつできるのか、本当にできるのかとの声が絶えません。この施設に、市の運営する床分があると聞いていますが、その部分に関して地元南口の市民が参画できる可能性はあるのでしょうか。今後のスケジュールとあわせて伺います。

答 いろは通りは、平成27年度に相互通行となり、バスも運行予定と聞いています。デッキの整備は27年の秋ごろ、駅周辺の道路整備は27年末完成を目指しています。58街区については、27年度から29年度までに基本設計・実施設計を行い、30年度に着工、33年度に竣工予定です。南口のにぎわい創出のための面積も確保できる見込みですので、今後は地元の方が管理する方法も含め、内容を検討していきたい。